

公益社団法人埼玉県理学療法士会
令和6年度第3回理事会議事録

1. 開催日時：令和6年9月17日（火）19：00～19：59

2. 会 場：インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 20名 定足数 11名

4. 出席理事数 17名

出席理事： 南本浩之、岡持利亘、水田宗達、田口孝行、原田慎一、横山浩康、渡邊賢治
兵頭甲子太郎、三宮将一、阿久澤直樹、櫻場勝、高野大智、米澤隆介、平野輝利人
菊地裕美、杉本諭、馬崎昇司

欠席理事： 渡邊雅恵、赤坂清和、木村佳晶

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 2名

出席監事：清宮清美、矢野秀典

欠席監事：

6. 出席部長・エリア長・委員長

塚田陽一

7. 出席部員

西岡幸哉（書記）

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議 題

<計画内審議>

なし

<計画外審議>

【学術局】雑誌「理学療法 臨床・教育・研究」のオンライン発刊について

【学術局】学術局編集部員（査読者）へ謝礼支払いについて

【教育局】2025年度理学療法士講習会事業募集結果について

【広報局】広報誌アンケート実施方法の変更について

<報告事項>

【事務局】LINEWORKS 審議について

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭、本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し、問題なく進行できることを確認した。また、議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

<計画内審議事項>

なし

<計画外審議事項>

➤ 【学術局】雑誌「理学療法 臨床・教育・研究」のオンライン発刊について

議長の求めに応じ、兵頭から資料に基づき雑誌「理学療法 臨床・教育・研究」のオンライン発刊について説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

渡邊賢 1件 5000円は何を指しているのか？また、オンライン化のデメリットについて想定できているものがあれば知りたい。

兵頭 1論文につき 5000円。デメリットについてはオンラインになるため全会員の目に触れない可能性がある。

渡邊賢 来年度からの計画だが、過去の物をオンライン化する議論はされているか。

兵頭 現状議論されていない。今後持ち帰って話し合う。

原田 J-stage には掲載されているので郵送は止めても問題ないのでは。周知ができればよいと考える。

田口 電子化はぜひ進めていきたい。周知方法等について広報局と相談できればと考えている。

審議の結果、原案通り、出席理事全員一致で承認された。

➤ 【学術局】学術局編集部員（査読者）へ謝礼支払いについて

議長の求めに応じ、兵頭から資料に基づき学術局編集部員（査読者）へ謝礼支払いについて説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

南本 1件 3000円程度の謝礼となると源泉徴収が発生する。それよりは日当として処理してお渡しするのはどうか。

兵頭 今まで県士会の事業でおこなっていた通り日当請求書を作成してもらうということか。

南本 その流れで良いと考える。

田口 資料に編集者に謝礼を支払っているとあるが、これは日当ではないか。

兵頭 確認する。

田口 査読者に埼玉県外の人もいるのか。

兵頭 数人いる。

田口 日当をお渡しできるのは埼玉県士会員のみなのか。

水田 その通り

田口 埼玉県士会員以外をどうするかが。あとは極力埼玉県士会員で完結できるようにするのがいいと考える。

兵頭 次年度からは埼玉県士会員で完結できるようにはできると思う。村田部長とも確認していく。

田口 各部署と協力していければ。

兵頭 日当処理でよいのか、また埼玉県士会員のみでできるのか、が確認できれば今回の理事会で承認いただけるとありがたい。

南本 埼玉県士会員でできるだけおこない、日当処理をしていく。やむを得ず埼玉県士会員外でおこなう場合は要相談としてもらう。

審議の結果、一部修正の条件付きで、出席理事全員一致での賛成で承認された。

➤ 【教育局】2025 年度理学療法士講習会事業募集結果について

議長の求めに応じ、田口から資料に基づき 2025 年度理学療法士講習会事業募集結果について説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

渡邊賢 8000 円の算出根拠は何か。

田口 明確な根拠は無い。事業の収入と支出のバランスから考慮して 8000 円とさせてもらった。また時給 1000 円は切ってはいけないのではないかと考えた。

南本 県士会としても謝礼額や日当額は今後再度考えていく必要がある。

審議の結果、原案通り、出席理事全員一致で承認された。

➤ 【広報局】広報誌アンケート実施方法の変更について

議長の求めに応じ、三宮から資料に基づき広報誌アンケート実施方法の変更について説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

田口 アンケート回答者に何かプレゼント等はあるのか。

三宮 現状考えていない

田口 回収率を期待するのであれば、抽選で何名かにプレゼント等あると上がる可能性もあるのでは。今後は回収率を上げる方法も検討してもらえれば。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

<報告事項>

【事務局】LINEWORKS 審議について

<その他の事項>

横山財務局長より令和6年度7月末日までの収支報告があった。

田口 今後もできるだけ節約できた方が良いか。

横山 その通り。

渡邊賢 小児福祉部内の予算で賄いきれない事業について小児福祉部長から相談されている。今後詳細が見えたら計画外審議で上げる可能性がある。

南本 計画外審議であげてもらえれば。

馬崎職能委員会担当理事より訪問栄養食事指導研修会の対応についての報告があった。

阿久澤職能局長より今後の埼玉県士会の組織としてのビジョンの共有の提案があった。

南本 三役や組織検討委員会で話しているところ。重点的におこなっていくべき事業等仕分けをしていく必要があると考えている。新入会員をどうするかも水田さん、菊地さんと相談している。それぞれの担当部局との相談が必要なことも多い。非常に大きな話なので全体として少しずつ進めていく。

阿久澤 各理事が共通認識をもっている必要がある。また協会が会員にどのようなことを提供していくのか明確になれば、県士会が会員に何をできるのかも明確になる。新しい会員がついてくるようになるにはどうしたらいいか含めてまた議論できれば。

南本 三役の意見で全て決定では無いのでまた議論できるとありがたい。

田口副会長より生涯学習についてのアンケートの協力の御礼があった。

岡持副会長より10月25日の日本理学療法士連盟研修会の告知があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、19時59分、議長は閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長_____印

監事_____印

監事_____印